埼玉県大学・短期大学図書館協議会 第30回総会議事録

日 時:平成29年6月16日(金) 13:30·14:15

場 所:大東文化大学東松山校舎管理棟3階大会議室

出 席:27機関(42名)・委任状 16機関

開 会 の 辞:文教大学 鈴木 正紀

開 会 挨 拶:代表幹事館 埼玉大学 課長 江田 進

会 場 校 挨 拶: 大東文化大学 60 周年記念図書館 館長 田辺 清

議長・書記選出:議長:東洋大学 片岡 和彦

書記:十文字学園女子大学 安達 美奈子

議事に先立ち、出席および委任状提出機関が加盟機関の過半数であり、総会の成立が確認された。

議事

1. 報告事項

- (1) 平成 28 年度事業報告 (報告者:埼玉大学 小野寺 伸) 総会資料「平成 28 年度事業報告」に基づき、平成 28 年度に実施した事業 (広報関係、平成 28 年度総会および幹事会の開催) について報告があった。各担当より以下の通り報告があった。
 - ①研修会について(報告者:十文字学園女子大学 安達 美奈子) 平成28年12月9日(金)に開催した。アンケート結果は資料の通りである。
 - ②図書館と県民のつどい埼玉 2016 について (報告者:埼玉大学 小野寺 伸) SALA は「協力団体」として参加しており、平成 28 年度は 7 大学が参加した。
 - ③共通閲覧証利用実績調査報告(報告者:東洋大学 片岡 和彦) 加盟館 47 館から回答があった。利用状況としては減少しており、身分証(学生証 や教職員証)での利用ができると利用が増えるのではないか、という意見などが あり、検討していきたい。
 - ④共同購入事業結果報告(報告者:国立女性教育会館 細川 芽) 37 館利用があった。利用館は増加している。平成 29 年度、業者により変更点があ るため総会資料にある各社の条件を確認し利用していただきたい。
 - ⑤加盟館動静報告(報告者:埼玉大学 小野寺 伸) 平成28年度新規加盟館はなく退会が1校あり、46機関となった。

(2) その他

①SALA 今後の在り方について中間報告(報告者:文教大学 鈴木正紀) 平成28年度、今後のSALA 運営について考えるためのWGを発足させた。資料 のとおりSALA が抱える様々な課題について検討を行った。平成29年度は特に資 料の(2) について検討をすすめ、次回総会において協議していただき、運営の改善を図りたい。

②次期幹事館の選出(説明者:埼玉大学 小野寺 伸) 加盟館に対し 10 月 3 日付で「平成 28 年度事業及び担当」をお送りしている。その表下部に"平成 28 年度については代表幹事館を「埼玉大学」とした。"とあるが、会則に則り平成 29 年度も幹事代表館をさせていただく、と報告した。以上平成 28 年度事業報告に対して質疑はなく、拍手をもって承認された。

2. 協議事項

- (1) 平成 28 年度決算報告 (案) (報告者: 聖学院大学 中山 浩二) 総会資料「平成 28 年度決算報告 (案)」に基づき、報告があった。 平成 28 年度決算報告 (案) に対して質疑はなく、拍手をもって承認された。 平成 28 年度監査報告 (案) (報告者: 埼玉女子短期大学 湊 伸子) 会計監査の結果、適正に処理されていることを認める旨、報告があった。 平成 28 年度監査報告 (案) に対して質疑はなく、拍手をもって承認された。
- (2) 平成 29 年度事業計画(案)(説明者:埼玉大学 小野寺 伸)総会資料「平成 29 年度事業計画(案)」に基づき提案があった。
 Open Library Weeks (OLW)について、平成 28 年度までは"実施する"としていたが、平成 29 年度は"支援する"に記述を改めたことについて、加盟館の自主性に任せて実施することとしたが実施館がなく、開催館の募集など、幹事会の一定の関与が必要であると判断し"支援する"という表記とした旨説明があった。
- (3)「図書館と県民のつどい埼玉 2017」参加について(説明者:埼玉大学 小野寺 伸) 資料に基づき、本年度も12月17日(日)桶川市民ホール・さいたま文学館にて開催される旨説明があった。

平成29年度事業計画(案)に対して質疑はなく、拍手をもって承認された。

「図書館と県民のつどい埼玉 2017」参加に対して質疑はなく、拍手をもって承認された。

- (4) 平成 29 年度予算(案)(説明者:聖学院大学 中山 浩二) 総会資料「平成 29 年度予算(案)」に基づき提案された。 平成 29 年度予算(案)に対して質疑はなく、拍手をもって承認された。
- (5) 次期会計監査館の選出 (説明者:埼玉大学 小野寺 伸)

資料「埼玉県大学・短期大学図書館協議会 平成 29 年度会計監査館 (案)」について提案された。

次期会計監査館の選出対して質疑はなく、拍手をもって承認された。

3. その他

協議事項について提案を求めたが、特に提案や意見はなかった。

閉会の辞 文教大学 鈴木 正紀